

## 平成28年度教育事業

# 「リックファミリーキャンプ」

### 1. 趣旨

国立花山青少年自然の家における体験活動を通して、家族の絆を深め、「体験の風をおこそう」運動の推進を図る。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

第1回	平成28年	9月24日(土)	～平成28年	9月25日(日)	[1泊2日]
第2回	平成28年10月	1日(土)	～平成28年10月	2日(日)	[1泊2日]
第3回	平成28年10月29日	(土)	～平成28年10月30日	(日)	[1泊2日]
第4回	平成28年11月19日	(土)	～平成28年11月20日	(日)	[1泊2日]
第5回	平成28年12月10日	(土)	～平成28年12月11日	(日)	[1泊2日]
第6回	平成28年12月24日	(土)	～平成28年12月25日	(日)	[1泊2日]
第7回	平成29年	1月8日(日)	～平成29年	1月9日(月)	[1泊2日]
第8回	平成29年	2月4日(土)	～平成29年	2月5日(日)	[1泊2日]
第9回	平成29年	2月25日(土)	～平成29年	2月26日(日)	[1泊2日]

#### (2) 参加者

##### ①参加対象

青少年を含む家族・各回10家族30名程度

##### ②参加人数

第1回	15家族	51名	(キャンセル1家族	4名)
第2回	9家族	27名	(キャンセル3家族	6名)
第3回	7家族	22名	(キャンセル2家族	7名)
第4回	10家族	30名	(キャンセル4家族	17名)
第5回	9家族	23名	(キャンセル3家族	9名)
第6回	9家族	31名	(キャンセル1家族	7名)
第7回	10家族	39名	(キャンセル3家族	12名)
第8回	8家族	25名	(キャンセル3家族	10名)
第9回	17家族	54名	(キャンセル3家族	12名)
合計	94家族	302名		

### 3. 企画・運営のポイント

- ①幼児から保護者まで幅広い年齢層に対応しうるアクティビティ及び活動強度を設定した。
- ②年中行事等、季節感を取り入れたプログラムデザインを行った。
- ③メールマガジンを活用した広報によってチラシの作成、発送といった費用削減に取り組んだ。

### 4. 日程

第1回 平成28年 9月24日(土)～平成28年 9月25日(日) [1泊2日]	
9月24日(土)	9月25日(日)
13:00 受付	6:30 起床・荷物整理
13:30 出合いのつどい	7:15 朝のつどい
14:00 親子でおもいっさり沢遊び	7:30 朝食(食堂バイキング)
17:30 夕食(食堂バイキング)	9:00 退所点検
19:00 入浴・自由時間	10:00 細倉マインパーク体験
20:00 ボランティア企画 キャンプファイヤー	10:30 別れのつどい(つどい後自由解散)
22:00 就寝	

第2回 平成28年10月 1日 (土)～平成28年10月 2日 (日)〔1泊2日〕	
10月 1日 (土)	10月 2日 (日)
16:00 受付	6:30 起床・荷物整理
16:30 出会いのつどい	7:15 朝のつどい
17:30 夕食 (食堂バイキング)	7:30 朝食 (食堂バイキング)
18:30 チャレンジカップ in はなやま	8:30 退所点検
19:30 入浴・自由時間	9:00 栗駒山登山
22:00 就寝	15:00 別れのつどい (つどい後自由解散)

第3回 平成28年10月29日 (土)～平成28年10月30日 (日)〔1泊2日〕	
10月29日 (土)	10月30日 (日)
13:00 受付	6:30 起床・荷物整理
13:30 出会いのつどい	7:15 朝のつどい
14:00 親子で空き缶ランタンづくり	7:30 朝食 (食堂バイキング)
17:30 夕食 (食堂バイキング)	8:30 退所点検
18:30 ランタンキャンドルナイト	9:00 別れのつどい (つどい後自由解散)
19:30 入浴・自由時間	
22:00 就寝	

第4回 平成28年11月19日 (土)～平成28年11月20日 (日)〔1泊2日〕	
11月19日 (土)	11月20日 (日)
15:00 受付	6:30 起床・荷物整理
15:30 出会いのつどい	7:15 朝のつどい
16:00 ≪本当の芋煮会≫体験	7:50 退所点検
20:00 入浴・自由時間	8:00 朝食 (食堂バイキング)
22:00 就寝	8:50 ①はなやま陶芸体験 ②紅葉ハイキング ③クラフト (万華鏡づくり)
	11:50 別れのつどい (つどい後自由解散)

第5回 平成28年12月10日 (土)～平成28年12月11日 (日)〔1泊2日〕	
12月10日 (土)	12月11日 (日)
16:00 受付	6:30 起床・荷物整理
16:30 出会いのつどい	7:15 朝のつどい
17:30 夕食 (食堂バイキング)	7:40 退所点検
18:30 クリスマスリースづくり	7:50 朝食 (食堂バイキング)
20:00 入浴・自由時間	9:00 東北大学川渡フィールドセンター 体験プログラム
22:00 就寝	11:50 別れのつどい (つどい後自由解散)

第6回 平成28年12月24日 (土)～平成28年12月25日 (日)〔1泊2日〕	
12月24日 (土)	12月25日 (日)
16:00 受付	6:30 起床・荷物整理
16:30 出会いのつどい	7:15 朝のつどい
17:00 花寿司クッキング &クリスマスパーティー	7:30 朝食 (食堂バイキング)
19:30 入浴・自由時間	8:30 退所点検
22:00 就寝	9:00 感覚ミュージアム体験
	10:00 別れのつどい (つどい後自由解散)

第7回 平成29年 1月 8日(日)～平成29年 1月 9日(月)〔1泊2日〕	
1月 8日(日)	1月 9日(月)
16:00 受付	6:30 起床・荷物整理
16:30 出会いのつどい	7:15 朝のつどい
17:30 夕食(食堂バイキング)	7:50 退所点検
18:30 チャレンジカップ in はなやま	8:00 朝食(食堂バイキング)
19:30 入浴・自由時間	9:00 親子もちつき体験
22:00 就寝	13:00 別れのつどい(つどい後自由解散)

第8回 平成29年 2月 4日(土)～平成29年 2月 5日(日)〔1泊2日〕	
2月 4日(土)	2月 5日(日)
16:00 受付	6:30 起床・荷物整理
16:30 出会いのつどい	7:15 朝のつどい
17:30 夕食(食堂バイキング)	7:50 退所点検
18:30 絵本の世界へGO! 「スペシャルおはなし会」	8:00 朝食(食堂バイキング)
20:00 入浴・自由時間	9:30 親子でスノーデビュー! 雪遊び&そりすべり体験
22:00 就寝	10:30 別れのつどい(つどい後自由解散)

第9回 平成29年 2月25日(土)～平成29年 2月26日(日)〔1泊2日〕	
2月25日(土)	2月26日(日)
16:00 受付	6:30 起床・荷物整理
16:30 出会いのつどい	7:15 朝のつどい
17:30 夕食(食堂バイキング)	7:50 退所点検
19:00 ココロもおなかもほっこり! スノーキャンドル &たきびでスモアづくり	8:00 朝食(食堂バイキング)
20:00 入浴・自由時間	9:30 冬のはなやま探検! スノーシューハイク &雪遊び体験
22:00 就寝	10:30 別れのつどい(つどい後自由解散)

## 5. 主な活動内容



第1回【ボランティア企画キャンプファイヤー】



第2回【紅葉の栗駒山登山】



第7回【親子もちつき体験】



第9回【雪遊び体験】

## 6. 成果・課題

### (1) 参加者アンケート結果

第1回	満足	80%	やや満足	20%	やや不満	0%	不満	0%
第2回	満足	100%	やや満足	0%	やや不満	0%	不満	0%
第3回	満足	100%	やや満足	0%	やや不満	0%	不満	0%
第4回	満足	100%	やや満足	0%	やや不満	0%	不満	0%
第5回	満足	78%	やや満足	22%	やや不満	0%	不満	0%
第6回	満足	100%	やや満足	0%	やや不満	0%	不満	0%
第7回	満足	100%	やや満足	0%	やや不満	0%	不満	0%
第8回	満足	100%	やや満足	0%	やや不満	0%	不満	0%
第9回	満足	100%	やや満足	0%	やや不満	0%	不満	0%

### (2) 参加者の声

- ①対象年齢の幅が広く子供たちを全員連れてくることができました。お母さんには、1日だけではなく子育て休暇をプレゼントできました。
- ②ゆったりとした時間配分だったので子供のいる家族にとって過ごしやすかった。
- ③他の家族と交流できた点も良かった。
- ④親の私達でもなかなか体験することができない大変良い経験をさせていただきました。
- ⑤個人でも利用可能という事でしたので他の事もしてみたいと思いました。
- ⑥プログラムはもとより集団行動の大切さ、ベッドメイクや時間厳守等を学べたことは普段の「旅行」とは大きく違って子供達にとっても貴重な体験となりました。

### (3) 成果

- ①花山での体験活動を気軽に楽しむことで、家族内だけではなく、家族間の交流を深めるきっかけとなった。
- ②毎回、法人ボランティアがベッドメイキングの説明等生活のオリエンテーションを行うことで法人ボランティアの研修の機会となった。また、次回以降の円滑な家族利用につなげることができた。
- ③基本として職員2名、法人ボランティア2名の体制をとり、活動の準備・指導を行ったことで、一人ひとりが効率的な事業運営のノウハウを身につけることができた。

### (3) 課題

- ①花山のみならず、近隣の教育施設・機関、講師とも連携し、「地域力」を活かしたプログラムを開発していきたい。
- ②今後、より多くの家族が参加できるように、会員募集チラシ及び年間スケジュールの改善を行い、計画的な広報に取り組む必要がある。
- ③実施回によっては初参加の家族と複数回参加経験のある家族に偏りがあったため、ニーズ分析を行い、事業計画に活かしていく必要がある。